

(様式 1)

1. 対象地区の概要

【対象地区の現状、地形及び水利用状況】

対象地区は、名鉄津島駅周辺の市中心部を核としてその周辺の住居、準工業地区を含んだ 177ha である。地形は全体的に平坦で、市の約 90% が海拔 0m 以下となっている。合流式下水道の放流先河川は二級河川日光川であり、この河川には上水道取水口等の水源利用はない。

【降雨特性】

過去 10 年間での平均的な降雨特性は年間降水量 1,455mm、降雨回数 99 回/年（代表年 2001 年）で年間の 1/3 程度の頻度で雨が降る。月別雨量では梅雨時期に多い傾向にあり、降雨量 10mm/日以下の小降雨が 6 割以上を占めている。

【モニタリング及び評価結果】

モニタリングは、処理場での流入下水を採水して実施した。未処理放流下水の水質については BOD が 40mg/L を超えている。夾雑物については雨水ポンプ場にスクリーン、沈砂池が設置されているため、紙類、ビニール類、枯葉等が除去されている。また、放流回数については、99 回/年に対して、21 回（代表年 2001 年）である。

2. 緊急に整備すべき理由

- ①汚濁負荷量削減の観点から放流される汚濁負荷量の総量を改善目標である「分流式下水道並み」に近づけたいため。
- ②公衆衛生上の観点から未処理下水の放流を極力防止したいため。

3. 計画目標

緊急改善対策目標（当面の対策目標 H 2 5 年度）

- ①汚濁負荷量の削減 …………… 年間の雨天時放流 BOD 負荷量を分流並
: 59.68 t（対策前）→41.04 t（分流並）
- ②公衆衛生上の安全確保 …… ポンプ場からの未処理下水の越流回数を半減
: 21 回（対策前）→10 回（対策後）
- ③夾雑物の削減 …………… すべての吐き口からの夾雑物の流出を極力除去
（スクリーンの設置）
: 吐き口は処理場の 1 箇所のみで対策済み（目幅 35mm）
基準は雨水用では 25~50mm

中間目標（H 2 3 年度）

- ①汚濁負荷量の削減 …………… 散水ろ床の改造が対策中であり、まだ施設が稼働していないため現況と同値である。
- ②公衆衛生上の安全確保 …………… 同上
- ③夾雑物の削減 …………… 対策済み

4. 計画期間

〔 4年 (平成22年度～平成25年度) 〕

5. 整備効果

〔 ①汚濁負荷量の削減…………… 年間の雨天時放流BOD負荷量(平均値)を削減
: 59.68 t (対策前) → 41.01 t (対策後)
②公衆衛生上の安全確保…… 未処理下水の越流回数を削減
: 21回 (対策前) → 10回 (対策後)
③夾雑物の削減…………… 対策済み 〕

6. 事業の効率化に関する取り組み

〔 ○既存施設の有効利用
1) 散水ろ床の滞水池への改造
本市には既存施設である散水ろ床(3,500m³)があり、現在は大規模工場が撤退したことにより、遊休施設となっている。この施設を合流改善施設として滞水池へ改造し有効利用することとした。
2) 標準法1池の活用(処理能力の余裕)
遊休施設となっている標準法1池を活用し、処理能力に余裕を持たせることで、放流負荷量を削減することとした。
3) 運転操作の工夫
本市では降雨初期のファーストフラッシュは見られず、雨水ポンプを稼働させ直接放流を行う時に初めて汚濁負荷の高い汚水が流入するという特徴がある。このため、運転方法を工夫し、簡易処理を行う前に雨水ポンプを稼働させて汚濁負荷の高い汚水を貯留することにより効果的に放流負荷量を削減するものとした。
○計画の見直し
1) 事業の縮小
前計画時から大規模工場が廃止し、汚水量・汚水水質が大幅に減少したことから計画を見直し、対策施設を縮小した。
・汚水量 …… 14,200m³/日 → 10,100m³/日
・汚水水質 …… 114mg/l → 77mg/l
・対策施設容量(滞水池) …… 7,000m³ → 3,500m³ 〕

(様式2)

1. 概要

市町村名	津島市	対象地区名	日光川処理区	計画対象面積	177ha
整備概要 (計画期間内整備) 津島市下水終末処理場の計画流入水量を見直した結果、散水ろ床法の池を雨水滞水池施設として改造する。 また、ピーク負荷量を効果的に貯留するため、雨水ポンプで滞水池に貯留する付帯施設として分配槽を新たに設置する。					

2. 雨水吐に設置するきょう雑物等除去施設

雨水吐名称	雨水吐位置	施設概要	概算事業費 (百万円)	工期
No.2	津島市中一色町 字北山	雨水ポンプ場 スクリーン	—	整備済み

3. 雨水貯留施設

貯留施設名称	形態	集水面積 (ヘクタール)	貯留量 (立方メートル)	概算事業費 (百万円)	工期
津島市 雨水滞水池	池	113	3,500	210	平成22年4月～ 平成26年3月

4. 遮集管渠

遮集管の名称	対象流量	管渠内法寸法 (ミリメートル)	延長 (メートル)	概算事業費 (百万円)	工期
該当なし	—	—	—	—	—

5. 雨水浸透施設

浸透施設名称	整備区域面積 (ヘクタール)	設置 数量	貯留量 (立方メートル/ヘクタール・分)	概算事業費 (百万円)	工期
該当なし	—	—	—	—	—

6. 雨水放流渠

放流渠の名称	対象流量	管渠内法寸法 (ミリメートル)	延長 (メートル)	概算事業費 (百万円)	工期
該当なし	—	—	—	—	—

7. 簡易水処理施設

施設の名称	位 置	能 力	構 造	概算事業費	工 期
該当なし	—	—	—	—	—

8. 年次計画及び年割り額

(単位：百万円)

名 称	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	計
津島市雨水滞水池	55	41	54	60	210
主な施工内容	分配槽設置 工事 滞水池改造 実施設計	滞水池 改造	連絡管及び 排水ポンプ 設置工事	配電盤設置 工事	